



発行所 塗料報知新聞社  
編集印刷発行人 有馬得之  
本社 電話(03)3260-6111  
東京都新宿区矢来町3番地  
FAX (03)3260-6116  
振替口座 00170-5-196510  
関西支社 電話(06)6244-0601  
大阪府中央区南船場3-37(千エビル)  
FAX (06)6245-4091  
振替口座 00900-2-120509  
中国支社 電話(86)10-8463-1683  
北京市朝陽区小宮路12号(2号楼1D)  
FAX (86)10-8465-1907  
購読料1か年(消費税込み)24,150円  
URL <http://www.e-toryo.co.jp>

日本専門新聞  
協会加盟紙  
©塗料報知新聞社 2012

### CEMA総会

# 新会長に木下真生氏 活性化へ向け道筋提案

日本塗装機械工業会(CEMA・里見多一会長)は、第36回年次総会を6月22日午後2時半から神奈川県横浜市港北区新横浜の新横浜国際ホテルで開いた。今回は役員改選が行われ、新会長に木下真生氏(ランスバーク・インタストリー)が選任された。

## 短期・中長期で遂行事項を大別

らサポインに認定され、産業分野として認められました。これは、まさに工業塗装高度化協議会の中で他の団体の皆様と協力的に行った大きな成果だと思えます」とあいさつした。



あいさつに立つ里見前会長(左)と木下新会長



あいさつに立つ里見前会長(左)と木下新会長

総会に先立ち、里見会長は「2年前に前会長の依頼で、私が緊急避難的に会長を仰せつかりました。東日本大震災の発

生などで、必ずしも計画通りの成果を出せたかどうか疑問はあります。その中で特出したことは、この4月に経済産業省が

総会では里見会長を議長に選出して、2011年度事業報告および会計予算案について審議。いずれも原案通り可決した。会長・副会長・専務理事承認、委員長・部長・副部長承認、2012年度事業計画案および会計予算案について審議。いずれも原案通り可決した。会長・副会長・専務理事承認では新会長に木下氏が就任した他は、副会長は甘利昌彦氏(旭サック)と壺田貴弘氏(アネスト岩田)が、専務理事は平野克己氏(日本塗

装機械工業会)がそれぞれ再任された。この後、特別発表として木下新会長が登壇。「会長という大役を仰せつかりまして、1期2年という限定付きで引き受けさせていただき、その間にできる限りのことをやっていきたいと思っております。1期2年という限られた時間の中で、何をやらばいかということを考えまして、ロードマップ、仕事を示していくうえでの道筋を示させていたきたいというところで、提案を作成致しました」とあいさつした後、「さらなる活性化へ向けてのROADMAPについて説明した。それによれば、短期と中長期的の二つに遂行必要事項を大別。短期は会

員増強を主軸とする財政改善、財政改善をベースにしたホームページのさらなる充実や出版事業の実行を掲げ、中長期の展開についてはCEMAがその委員会・部会を中心として常時活動している事項のレビューと問題点の洗い出し、そこからの改善対策の確立、また将来的にCEMAが目指す活動の方向確認を挙げた。併せて、会員増強の具

皆様のご協力をお願いします」と述べた。また、退任に当たって里見会長は「事業の失敗は青年の過失によるものではなく老人の跋扈である」という言葉がある。先輩は良いタイミングを持って若い世代に譲っていくという気持ちが必要なのではないかと思えます。老人が悪いということではなく、できるだけ早く有能な次の世代の人達を育て、将来を託し、新しい発想のもとで事業を行わなければと思えます。会長であった2年間は大きなことではなかった。本心に申し訳ないと思いますが、最大の功績という意味では木下新会長に託せたことだと考えております。今日の総会で新会長自らのプレゼンテーションをうかがいまして、これからCEMAがここで示された方向で動いていけば、塗料業界がますます前途洋々となり、CEMAの明るい未来を託せると思えます」とあいさつした。